

大学番号：国056

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

事前伺い

大阪教育大学 教育学部 学校教育教員養成課程

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 大阪教育大学  
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画課

職名・氏名 オオホリ 大堀 コウジ 耕嗣

電話番号 072-978-3208

（夜間） 072-978-3208

F A X 072-978-3225

e-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・	1
2	授業科目の概要	・ ・ ・ ・	5
3	施設・設備の整備状況, 経費	・ ・ ・ ・	27
4	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・	28
5	教員組織の状況	・ ・ ・ ・	29
6	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・	31
7	その他全般的事項	・ ・ ・ ・	32

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 大阪教育大学

## (2) 大学名

大阪教育大学

## (3) 大学の位置

〒582-8582

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)  
平成25年度に報告する内容 → (25)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 学校教育教員養成課程  学士(教育学)	4年	395人	0人	1580人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	395人 ( - ) [若干人]	-	395人 ( - ) [若干人]	-	395人 ( - ) [若干人]	-	395人 ( - ) [若干人]	-	1.03倍	
志願者数	1212 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	1388 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	1357 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	1389 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	912 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	1042 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	1026 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	996 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	425 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	429 ( - ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	426 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	427 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	407 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	409 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	409 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]	404 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.03		1.03		1.02			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 407	[-] -	[-] 409	[-] -	[-] 409	[-] -	[1] 404	[ ]	
2年次	/		[1] 406	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 408	[ ]	
3年次			/		[1] 403	[-] -	[-] 408	[ ]	
4年次					/		[1] 403	[ ]	
計			[ 1 ] 407	[ 1 ] 815			[ 1 ] 1,220	[ 2 ] 1623	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	407 人	4 人	平成22年度	1 人	人	進路変更のため	1.0 %
			平成23年度	3 人	人	除籍	
			平成24年度	0 人	人		
			平成25年度	0 人	人		
平成23年度 入学者	409 人	1 人	平成23年度	1 人	人	進路変更のため	0.2 %
			平成24年度	0 人	人		
			平成25年度	0 人	人		
平成24年度 入学者	409 人	1 人	平成24年度	1 人	人	一身上の都合のため	0.2 %
			平成25年度	0 人	人		
平成25年度 入学者	404 人	0 人	平成25年度	0 人	人		0.0 %
合 計	1629 人	6 人					0.4 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<教育学部 学校教育教員養成課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
教養基礎科目	思索と芸術	ことばへの招待Ⅰ	1・2・3・4	2						兼1	本学の教養基礎科目は、芸術から自然科学に至る幅広い分野を「思索と芸術」、「国際と地域」、「歴史と社会」、「人間と生活」、「生命と環境」、「数理と自然」の6つのカテゴリーからなる分野別科目と学際的に複合的な授業をめざす総合科目から構成し、多彩な科目を開設している。  授業内容に適した科目名称に変更(23)  授業内容に適した科目名称に変更(23)  思索分野の充実を図るため、授業科目を追加(22)  授業内容に適した科目名称に変更(24) 思索と芸術分野の充実を図るため、授業科目を追加(23) 京阪奈三教育大学連携による会議システム活用授業科目の追加(以下、京阪奈連携授業の追加と記す)(25)	
		ことばへの招待Ⅱ	1・2・3・4	2						兼1		
		コンサートへの誘い	1・2・3・4	2								兼10
		ドイツ文学を読む	1・2・3・4	2								兼1
		科学の揺籃から離陸まで	1・2・3・4	2								兼1
		芸術理論：フランス近代美学から	1・2・3・4	2								兼1
		芸術理論：感情論から感覚論へ	1・2・3・4	2								兼1
		現代日本における児童文学の諸問題	1・2・3・4	2				1				
		合唱の響き	1・2・3・4	2								兼1
		日本語の世界	1・2・3・4	2								
		中国文化と日本文化										
		読むための視点	1・2・3・4	2								兼1
		日本文学における韻文学世界	1・2・3・4	2								兼1
		日本近代文学における個性の闘い 文学と(私)	1・2・3・4	2								兼1
		文学表現論	1・2・3・4	2								兼1
		文学理念と人間	1・2・3・4	2								兼1
		平安朝文学世界への誘い	1・2・3・4	2								兼1
		民族と音楽：東南アジアを中心に	1・2・3・4	2								兼1
		漱石を読む	1・2・3・4	2								兼1
		『論語』を読む	1・2・3・4	2								兼1
		日本人の宗教観	1・2・3・4	2								兼1
		美と遊戯の哲学	1・2・3・4	2								
		芸術哲学入門										
		論理サイババルと文学の中の科学	1・2・3・4	2								兼1
	ユーラシア美術史	1・2・3・4	2							兼1		
	アジアの中の日本美術史	1・2・3・4	2							兼1		
	国際と地域	アメリカと世界	1・2・3・4	2							兼1	
		ヨーロッパ-ドイツの窓から	1・2・3・4	2							兼1	
		ヨーロッパ-フランスの窓から	1・2・3・4	2							兼1	
		海岸の地形	1・2・3・4	2								
		海、山、川の地形環境										
		国際関係論入門	1・2・3・4	2							兼1	
		国際政治入門	1・2・3・4	2							兼1	
国際法入門		1・2・3・4	2							兼1		
国際理解		1・2・3・4	2							兼1		
多文化共生の社会をめざして		1・2・3・4	2							兼1		
東アジア言語文化論		1・2・3・4	2							兼1		
日本事情		1・2・3・4	2							兼1		
暮らしの環境と地図		1・2・3・4	2							兼1		
シティズンシップを学ぼう！	1・2・3・4	2			1	2	1		兼4			
ヨーロッパ文明とは何か	1・2・3・4	2							兼1			
ヨーロッパから見た日本	1・2・3・4	2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
	海外文化研究	1・2・3・4		2						兼3	国際と地域の分野の充実を図るため、授業科目を追加(25)		
	韓国の言語と文化 I	1・2・3・4		2						兼1			
	韓国の言語と文化 II	1・2・3・4		2						兼1			
	Business Presentation Skills	1・2・3・4		2						兼1			
	Speech Communication	1・2・3・4		2						兼1			
	Japanese Culture	1・2・3・4		2						兼1			
	Cross-cultural Communication	1・2・3・4		2						兼2			
	地理学	1・2・3・4		2						兼1	京阪奈連携授業の追加(25)		
教養基礎科目	歴史と社会	古代の国家と社会	1・2・3・4		2						兼1	授業内容に適した科目名称に変更(25)	
		近世のヨーロッパとアジア											
		<del>ヨーロッパの歴史学</del>											授業内容に適した科目名称に変更(23)
		地域から見る西洋史	1・2・3・4		2						兼1		
		地域から見る日本中世史	1・2・3・4		2							兼1	
		地域史としての考古学	1・2・3・4		2							兼1	
		東アジア近代史	1・2・3・4		2							兼1	
		日本国憲法	1・2・3・4	2								兼2	
		日本政治外交史	1・2・3・4		2							兼1	
		法学	1・2・3・4		2							兼1	
	近世の南アジアとインド洋	1・2・3・4		2							兼1		
	唐宋時代の社会史											授業内容に適した科目名称に変更(23)	
	唐宋時代の地域社会	1・2・3・4		2							兼2		
	日本科学技術史概論	1・2・3・4		2							兼1	歴史と社会の分野の充実を図るため、授業科目を追加(22)	
	歴史の中のサイエンス	1・2・3・4		2							兼1		
	Media Studies I (Broadcast Media)	1・2・3・4		2							兼1	歴史と社会の分野の充実を図るため、授業科目を追加(25)	
	Media Studies II (Printed Media)	1・2・3・4		2							兼1		
	人間と生活	いい汗かこうぜ! ボランティア	1・2・3・4		2							兼2	オムニバス
		<del>キャリアデザイン</del>	<del>1・2・3・4</del>		<del>2</del>							<del>兼1</del>	人間と生活の分野の充実を図るため、授業科目を分割(25)
		キャリアデザインI-大学とキャリア-	1・2・3・4		2							兼1	
キャリアデザインII-社会とキャリア-		1・2・3・4		2							兼1		
キャリアデザインIII-コミュニケーション演習-		1・2・3・4		2							兼1		
グローバル化時代の人間と社会		1・2・3・4		2							兼1		
ライフサイクルの心理学		1・2・3・4		2							兼1		
科学と似非科学		1・2・3・4		2							兼1		
貨幣とわれわれの社会		1・2・3・4		2							兼1		
健康科学への招待		1・2・3・4		2							兼1		
現場に活かすスポーツ実践論		1・2・3・4		2							兼1		
志木那島の政治経済学		1・2・3・4		2							兼1		
生活環境をさぐる		1・2・3・4		2							兼3	オムニバス 兼担教員1名の退職に伴い、2名の兼担教員で授業内容を充足(23)	
対人コミュニケーションの心理学入門		1・2・3・4		2							兼1		
地域連携学校教育入門-現代社会を生きる-		1・2・3・4		2							兼1		
日常生活に見る心と行動の科学		1・2・3・4		2							兼1		
部落問題概論 I		1・2・3・4		2							兼3		
部落問題概論 II		1・2・3・4		2							兼3		
平和のための教育	1・2・3・4		2							兼1			
人間形成のパラドックス	1・2・3・4		2							兼1	人間と生活の分野の充実を図るため、授業科目を追加(22)		
身の回りのサイエンス	1・2・3・4		2							兼1			
生涯教育と人間形成	1・2・3・4		2							兼1	人間と生活の分野の充実を図るため、授業科目を追加(23)		
租税論	1・2・3・4		2							兼1			
地方財政論	1・2・3・4		2							兼1	授業内容に適した科目名称に変更(24)		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手			
	現代社会学の方法と実践	1・2・3・4		2							兼1	人間と生活の分野の充実を図るため、授業科目を追加(24) 人間と生活の分野の充実を図るため、授業科目を追加(25) 京阪奈連携授業の追加(25)		
	科学リテラシーと市民生活	1・2・3・4		2							兼7			
	メディア・リテラシー演習	1・2・3・4		2							兼10			
	Academic Presentation Skills	1・2・3・4		2							兼1			
	Discussion Skills I (Brainstorming)	1・2・3・4		2							兼1			
	Discussion Skills II (Meeting Facilitation)	1・2・3・4		2							兼1			
	Discussion Skills III (Debate)	1・2・3・4		2							兼1			
	問題解決のためのコンピュータを用いたデータ分析入門	1・2・3・4		2							兼1			
	Science lesson in English	1・2・3・4		2							兼1			
	都市防災対策と防災教育	1・2・3・4		2							兼1			
	健康科学論	1・2・3・4		2							兼1			
	心理生理学	1・2・3・4		2							兼1			
	性倫理と性教育	1・2・3・4		2							兼1			
	分野別科目	くらしと植物	1・2・3・4		2								兼1	授業内容に適した科目名称に変更(23) 授業内容に適した科目名称に変更(23) 授業内容に適した科目名称に変更(24) 環境に関連する分野の充実を図るため、授業科目を追加(22) 京阪奈連携授業の追加(25)
ゲノム時代に生きる		1・2・3・4		2							兼1			
ニュースの中の生命科学		1・2・3・4		2							兼1			
はかってなんぼ-環境をはかる		1・2・3・4		2							兼1			
ミクロの生物学入門		1・2・3・4		2							兼1			
里山の自然誌 自然観察入門		1・2・3・4		2							兼1			
水と環境を考える		1・2・3・4		2							兼1			
水のはなし		1・2・3・4		2							兼1			
生物学と医学の出会い 生物学研究から生まれたテクノロジー		1・2・3・4		2							兼1			
生命と共生		1・2・3・4		2							兼1			
地球と環境		1・2・3・4		2							兼1			
地球と災害 地球環境を科学する		1・2・3・4		2							兼1			
自然史博物館への招待		1・2・3・4		2							兼1			
大阪の環境と地球環境		1・2・3・4		2							兼1			
地球環境と生物進化		1・2・3・4		2							兼1			
天気科学		1・2・3・4		2							兼1			
地球科学		1・2・3・4		2							兼1			
持続発展教育 (ESD) 概論		1・2・3・4		2							兼1			
教養基礎科目		はかってなんぼ-学校編	1・2・3・4		2							兼1	授業内容に適した科目名称に変更(25)	
		ベクトルとその応用を理解する	1・2・3・4		2							兼1		
	ベクトル空間と行列の対角化	1・2・3・4		2							兼1			
	宇宙の構成と歴史	1・2・3・4		2							兼1			
	応用数学入門	1・2・3・4		2							兼1			
	音と光の科学	1・2・3・4		2							兼1			
	化学元素発見の歴史	1・2・3・4		2							兼1			
	科学常識を考える	1・2・3・4		2							兼1			
	教員のための線形代数学A	1・2・3・4		2							兼1			
	教員のための線形代数学B	1・2・3・4		2							兼1			
	極限物理への道	1・2・3・4		2							兼1			
	確率・統計入門 <del>偶然の数理-確率論入門</del>	1・2・3・4		2							兼1			
	行列式と数ベクトル	1・2・3・4		2							兼1			
	自然科学のための線形代数入門	1・2・3・4		2							兼1			
	自然科学のための微積分入門	1・2・3・4		2							兼1			
	集合論	1・2・3・4		2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	総合科目	数学の手ざわり	1・2・3・4	2							兼1	自然科学分野の充実を図るため、授業科目を追加(22)
		素数と符号	1・2・3・4	2							兼1	
		統計を通して見る世界	1・2・3・4	2							兼1	
		物理学入門	1・2・3・4	2							兼1	
		歴史を変えた有機化合物	1・2・3・4	2							兼1	
		自然の基本をたずねて	1・2・3・4	2							兼1	
		「障害」者と人権	1・2・3・4	2							兼1	
	ジェンダーとセクシュアリティ	1・2・3・4	2							兼4	オムニバス	
	学校危機と心のケア	1・2・3・4	2							兼10	オムニバス	
	公共性を考える	1・2・3・4	2							隔年開講	市民性教育を促進させるため、授業内容を充実させ、科目名称を「シティズンシップを学ぼう」に変更し、分野別科目の「国際と地域」において開設することとした。(22)	
	論述の手引き	1・2・3・4	2							兼1		
	知的財産権入門	1・2・3・4	2							兼2		
	顕微鏡の世界-ミクロからナノへ-	1・2・3・4	2							兼5	オムニバス	
	情報科学入門Ⅰ	1・2・3・4	2							兼1		
	情報科学入門Ⅱ	1・2・3・4	2							兼2		
	電子計算機入門	1・2・3・4	2							兼2		
	電子計算機応用	1・2・3・4	2							兼1		
	自然派のための野外活動実習	1・2・3・4	2							兼2	オムニバス	
	現代社会と健康	1・2・3・4	2							兼2	オムニバス	
	指導者、選手が語るスポーツ成功への軌跡	1・2・3・4	2							隔年開講		
特別授業-大阪教育大学の歴史と使命-	1・2・3・4	2							隔年開講			
共通基礎科目	言語科目	英語Ⅰ a	1	2							兼11	外国人留学生の
		英語Ⅰ b	1	2							兼11	
		英語Ⅱ a	2	2							兼4	
		英語Ⅱ b	2	2							兼1	
		ドイツ語初級 a	1	2							兼6	
		ドイツ語初級 b	1	2							兼5	
		ドイツ語中級 a	2	2							兼1	
		ドイツ語中級 b	2	2							兼1	
		ドイツ語上級	3	2							兼1	
		フランス語初級 a	1	2							兼4	
		フランス語初級 b	1	2							兼4	
		フランス語中級 a	2	2							兼1	
		フランス語中級 b	2	2							兼1	
		フランス語上級	3	2							兼1	
		中国語初級 a	1	2							兼5	
		中国語初級 b	1	2							兼5	
		中国語中級 a	2	2							兼1	
		中国語中級 b	2	2							兼1	
		中国語上級	3	2							兼1	
		外国語コミュニケーションⅠ	2	2							兼10	
外国語コミュニケーションⅡ	2	2							兼6			
韓国語	1・2	2							兼1			
日本語作文Ⅰ	1	2							兼1			
日本語作文Ⅱ	1	2							兼1			
日本語読解Ⅰ	1	2							兼1			
日本語読解Ⅱ	1	2							兼1			
日本語聴解Ⅰ	1	2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
	日本語聴解Ⅱ	1		2							兼1	み			
	日本語演習Ⅰ	2		2							兼1				
	日本語演習Ⅱ	2		2							兼1				
	体育科目	スポーツ実技 a	1		1		1	1				兼12	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(25)		
		スポーツ実技 b	1		1		1	1				兼13			
スポーツ実技 c		2		1							兼2				
スポーツ実技 d		2		1							兼2				
教職基礎科目	情報機器の操作	1・2	2			4	6	3	2			兼3	8	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)	
	特別なニーズのある子どもの教育	1	2				2	1				兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を兼任教員から専任教員に変更(23)		
	学校安全	2	2			1	2	1				兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)		
教職関連科目	小・中一貫教育概論	1		2								兼1	2	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)	
	教職実践論	1		2								兼1	2		
	数と集合	1		2				1				兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を兼任教員から専任教員に変更(23)		
	食農教育の実践	1		2			1					兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)		
	食農教育の活用	1		2			1					兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)		
	表現教育	1		2		1	2	3	4				オムニバス		
	教育科学の基礎	1		2			1	1					授業担当専任教員の職位変更(24)		
	消費者教育論	1		2				1	2				兼1	授業担当専任教員の職位変更及び教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)	
	知的財産教育論	1		2			1	1					兼1	授業担当専任教員の職位変更及び教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)	
	国際理解教育	1		2						1					
	学校教育と著作権	1・2		2									兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(23)	
	ことばと教育	1・2		2			1							履修の機会を増やし、複数科目の履修を促進するため、配当年次を変更(22)	
	アジア理解教育	1・2		2			1	1						授業担当専任教員の職位変更(25)	
	人間と道徳	1・2		2			1	1						授業担当専任教員の職位変更(25)	
環境教育論	1・2		2					1					授業担当専任教員の職位変更(23)		
遊びとスポーツ	1・2		2			1	1						授業担当専任教員の職位変更(23)		
教職専門科目	教職入門セミナー	1	2			2	1					兼1	1	教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)	
	教育総論	1	2				1					兼1	1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
	発達と教育の心理学	1	2				2						1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(25)	
	教育組織論													教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)	
	教育のシステムと環境	2	2				1	1				兼1	1	教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)	
	学校の役割と経営													教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)	
	教育の社会的役割と経営	2・3	2				2							教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)	
	教育実践の研究Ⅰ	2	2				1	1							
	教育実践の研究Ⅱ	2	2					1				兼1	1	小学校コースは選択科目	
	学習指導の心理学	3	2					1							
	道徳教育の研究	2・3	2					1		1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
	生徒指導論	2	2					1							
	生徒指導の心理学	3	2					1	1					授業担当専任教員の職位変更(25)	
	教職実践演習(教諭)	4	2				7	5	1					1	教職課程認定審査における指導により、科目名称を変更(22)
	学校教育体験実習	2		2									兼1	1	
学校教育発展実習	4		2									兼1	1		
教育実習	3	5				40	41	43	31	3				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
														専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(25)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教職関連科目  免許教科科目	美術科教育法Ⅳ	3	2			1					授業担当専任教員の職位変更(24) 専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(25)		
	中等社会科(地歴)教育法Ⅴ	3		2	1	1				兼1 兼1 兼1			
	中等社会科(公民)教育法Ⅵ	3		2	1								
	工業科教育法Ⅰ	3		2									
	工業科教育法Ⅱ	3		2									
	工芸科教育法Ⅰ	3		2		1							
	工芸科教育法Ⅱ	3		2		1							
	小学校教科専門科目	国語Ⅰ	1	1		1					兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加し、オムニバスで実施(23)	
		国語(書写)Ⅱ	1	1									
		社会Ⅰ	1	2		1	5	5			兼1	教職課程認定申請に関わり、学習指導要領の各教科内容を網羅した学習をさせる必要があるため、包括的な内容の授業が行えるようにした。(22)	
		社会Ⅱ	2	2			1						
		数学	1	2		1	3	1	2	2	1	兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加し、オムニバスで実施(23)
		理科Ⅰ	1	2		1	4	4	1	1			
		理科Ⅱ	1	2		1	3	4	1	2		兼2	兼1
		生活	1	2			1	2					
		音楽	1	2				1				兼1	授業担当専任教員の職位変更(24) 教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(25)
		図画工作Ⅰ	1	1				1					
		図画工作Ⅱ	1	1				1				兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加し、オムニバスで実施(23)
		図画工作Ⅲ	2	1			1						
		図画工作Ⅳ	2	1			1					兼1	兼3
		家庭	1	2		3	1	2					
		体育Ⅰ	1	1		1						兼3	兼3
		体育Ⅱ	1	1		1			1				
		体育Ⅲ	2	1		1						兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加し、オムニバスで実施(23)
		体育Ⅳ	2	1		1							
		国語専攻(中学校コース)教科専門科目	国語学概論	1	2			1					兼1
	国文学概論		1	2			1	1					
漢文学概論Ⅰ	1		2								兼1	小学校コースは選択科目	
漢文学概論Ⅱ	1		2										
国語学特論Ⅰ	2		2			1					兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
国語学特論Ⅱ	2		2			1							
国文学特論Ⅰ	2		2			1					兼1	兼1	
国文学特論Ⅱ	2		2			1	1						
書道概要Ⅰ(書写を中心とする。)	2		2								兼1	兼1	
書道概要Ⅱ(書写を中心とする。)	2	2											
英語専攻(中学校コース)教科専門科目	英語音声学Ⅰ	1	2			1					兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
	英語音声学Ⅱ	1	2			1							
	英米文学講読	1	2					1			兼1	小学校コースは選択科目	
	オーラルコミュニケーション中級Ⅰ	1	2					1					
	オーラルコミュニケーション中級Ⅱ	1	2					1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
	比較文化論	1	2					1					
	英文法研究Ⅰ	2	2			1					兼1	兼1	
	英米文学研究	2	2				1	1					
	ライティング中級Ⅰ	2	2					1			兼1	兼1	
	ライティング中級Ⅱ	2	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職関連科目	社会専攻（中学校コース） 教科専門科目	地誌概論	1	2		2	1				兼1 兼1 小学校コースは選択科目
		地理学概論	2	2		2					
		世界史概説Ⅰ	1		2	1					
		世界史概説Ⅱ	1		2		1				
		人間と社会	1		2	1					
		哲学の基礎	1		2	1					
		日本史概説Ⅰ	2		2	1					
		日本史概説Ⅱ	2		2	1					
		法律学	2		2						
		政治学	2		2						
		西洋思想概論	2		2		1				
	人間と宗教	3		2		1					
	数学専攻（中学校コース） 教科専門科目	代数学A	1	2		1					兼1 兼1 小学校コースは選択科目
		幾何学A	1	2		1					
		微分積分学A	1	2							
		微分積分学B	1	2							
		代数学B	2	2		1					
		幾何学B	2	2		1					
		解析学A	2	2			1				
		解析学B	2	2			1				
		確率統計	2	2			1				
		コンピュータ	2	2			1				
	理科専攻（中学校コース） 教科専門科目	物理学Ⅰ	1	2		1					兼1 専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23) 小学校コースは選択科目 授業担当専任教員の職位変更(24)
		化学Ⅰ	1	2		1					
		生物学Ⅰ	1	2			1				
		地学Ⅰ	1	2		1	1				
		物理学Ⅱ	2	2		1					
		物理学実験Ⅰ	2	1		1	1	1			
		化学Ⅱ	2	2		1					
		化学実験Ⅰ	2	1		2					
		生物学Ⅱ	2	2		1					
		生物学実験Ⅰ	2	1			2				
		地学Ⅱ	2	2		1					
		地学実験Ⅰ	2	1			1				
	技術専攻（中学校コース） 教科専門科目	金属加工学	1	2		1	1				兼1 兼1 授業担当専任教員の職位変更(23) 授業担当専任教員の職位変更(24) 授業担当専任教員の職位変更(23) 授業担当専任教員の職位変更(24) 兼1 兼1 兼1
		木材加工学Ⅰ	1	2		1	1				
情報基礎Ⅰ（実習を含む。）		1	2			1					
機械工学Ⅰ		2	2		1						
機械工学Ⅱ		2	2		1						
機械工学実験		2	1		1	2	1				
電気工学Ⅰ		2	2		1						
電気工学Ⅱ		2	2		1						
電気工学実験		2	1		1						
金属加工学実習		2	1		1	1					
木材加工学実習		2	1		1	1					
製図Ⅰ		2	1		1						
栽培Ⅰ（実習を含む。）		2	1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
教職関連科目	家政専攻（中学校コース） 教科専門科目	生活経営学	1	2		1	1				授業担当専任教員の職位変更(24)  小学校コースは選択科目	
		被服学Ⅰ	1	2		1				兼1		
		住居学Ⅰ	1	2						兼1		
		住居学実習Ⅰ（製図を含む。）	1	1						兼1		
		育児学Ⅰ	1	2		1						
		家庭看護実習	1	1		1						
		家族関係学Ⅰ	2	2						兼1		
		被服構成実習Ⅰ	2	1			1					
		被服構成実習Ⅱ	2	1			1					
		栄養学	2	2			1					
		調理実習Ⅰ	2	1			1					
		調理実習Ⅱ	2	1				1				
		食品学	2	2				1				
	保健体育専攻（中学校コース） 教科専門科目	水泳	1	1							兼1	教職課程認定申請に関わり、科目名称を学習指導要領の表記に合わせた。(22) 小学校コースは選択科目 専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23) 教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(25) 専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23) 他の教科専門科目との科目名称の統一を図るため、科目名称を変更(22)  カリキュラム充実のため、授業科目を追加(22)
		器械運動					1					
		体操競技	1	1								
		運動生理学	1	2				1				
		学校保健	2	2				1	1		兼1	
		運動学	2	2				1				
		衛生学及び公衆衛生学	1	2				1			兼1	
		スポーツ教育原理				2		1				
		体育原理	1			2						
		スポーツ社会学	1			2		1				
		陸上競技	2			1		1				
		剣道	2			1		1				
		柔道	2			1					兼1	
		サッカー	3			1		1				
スポーツ心理学	2			2					兼1			
スポーツ経営学	2			2		1						
ダンス	2			1					兼1			
バレーボール	3			1					兼1			
バスケットボール	3			1			1					
救急処置法	3			2					兼1			
ハンドボール	4			1					兼1			
テニス	4			1					兼1			
ラグビー	4			1					兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
音楽専攻(中学校コース)教科専門科目	ソルフェージュⅠ	1	1				1					
	ソルフェージュⅡ	1	1				1					
	演奏表現(こえ)Ⅰ	1	1			1						
	演奏表現(こえ)Ⅱ	1	1			1						
	ピアノ基礎演習	1	1			1						
	合唱Ⅰ	2	1			1						
	合唱Ⅱ	2	1			1						
	演奏表現(ピアノ)Ⅰ	2	1			1						
	演奏表現(ピアノ)Ⅱ	2	1			1						
	合奏Ⅰ	2	1							兼1		
	合奏Ⅱ	2	1							兼1		
	アンサンブル指揮法	2	2				1					
	創作表現Ⅰ	2	1				1					
	音楽学ⅠA	2	2			1	1				授業担当専任教員の職位変更(24)	
	音楽学ⅠB	2	2								兼1	
	和楽器アンサンブルA	3	1								兼1	
	和楽器アンサンブルB	3	1								兼1	
美術・書道(美術)専攻(中学校コース)教科専門科目	造形表現AⅠ	1	2					1				
	造形表現BⅠ	1	2				1					
	造形表現CⅠ	1	2			1						
	造形表現DⅠ	1	2			1						
	美術史A	1	2			1					兼1	
	造形表現AⅡ	2	1								兼1	
	造形表現AⅢ	2	1								兼1	
	造形表現BⅡ	2	1				1					
	造形表現BⅢ	2	1				1					
	美術理論Ⅰ	2	2				1	1			兼1	
	美術史B	2	2				1	1				
	造形表現CⅡ	2		1			1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
	造形表現CⅢ	2		1			1					
	造形表現DⅡ	2		1			1					
	造形表現DⅢ	2		1			1					
	美術・書道(書道)専攻(中学校コース)教科専門科目	国語学概論	1	2			1					
		国文学概論	1	2			1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)
漢文学概論Ⅰ		1	2								兼1	
漢文学概論Ⅱ		1	2								兼1	
国語学特論Ⅰ		2	2			1						
国語学特論Ⅱ		2	2			1						
国文学特論Ⅰ		2	2			1						
国文学特論Ⅱ		2	2			1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
書道概要Ⅰ(書写を中心とする。)		2	2								兼1	
書道概要Ⅱ(書写を中心とする。)		2	2								兼1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻専門科目	教育科学専攻専門科目 教育学分野	教育科学入門	1	2		5	7	6	1			オムニバス	
		教育学演習	2	2		1	4	4	2		兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育哲学	2		2	1	1						
		教育史	2		2		1				兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		教育方法学	2		2	1	1					専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育社会学	2		2	1	1				兼1		
		教育行政学	2		2		1				兼1	教育課程の充実を図るため、授業担当教員を兼任教員から専任教員に変更(23)	
		教育哲学演習Ⅰa	3		1		1	1					
		教育哲学演習Ⅰb	3		1		1	1					
		教育史演習Ⅰa	3		1			1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育史演習Ⅰb	3		1			1			兼1		
		教育方法学演習Ⅰa	3		1		1	2				教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(25)	
		教育方法学演習Ⅰb	3		1		1	2					
		教育社会学演習Ⅰa	3		1		1	1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育社会学演習Ⅰb	3		1		1	1			兼1		
		教育行政学演習Ⅰa	3		1						兼1		
		教育行政学演習Ⅰb	3		1						兼1		
		教育思想	3		2		1	1					専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)
		教育社会史	3		2			1					
		学校教育方法論	3		2		1	1					
		社会の構造と教育	3		2		1	1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育行政・経営論	3		2						兼1		
		教育学特講	3		2						兼1		
		教育哲学演習Ⅱa	4		1		1	1					
		教育哲学演習Ⅱb	4		1		1	1					
		教育史演習Ⅱa	4		1			1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
		教育史演習Ⅱb	4		1			1			兼1		
		教育方法学演習Ⅱa	4		1		1	2				教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加(25)	
		教育方法学演習Ⅱb	4		1		1	2					
		教育社会学演習Ⅱa	4		1		1	1			兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)	
教育社会学演習Ⅱb	4		1		1	1			兼1				
教育行政学演習Ⅱa	4		1						兼1				
教育行政学演習Ⅱb	4		1						兼1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻専門科目 教育科学専攻専門科目	心理学分野	心理学統計法演習	2	2		1						兼5 授業担当専任教員の職位変更(23) 教育課程の充実を図るため、授業担当教員を追加し、オムニバスで実施(23) 授業担当専任教員の職位変更(25)	
		心理学基礎実験Ⅰ	2	1		1	1						
		心理学基礎実験Ⅱ	2	1			1						
		心理学文献講読	2	1			1						
		心理学問題研究	2	1			1	4	2				
		心理学研究法演習Ⅰ	3	1			1						
		心理学研究法演習Ⅱ	3	1			1	1					
		心理学特殊実験演習Ⅰa	3・4		1		3						
		心理学特殊実験演習Ⅰb	3・4		1			3					
		心理学特殊実験演習Ⅰc	3・4		1								兼2
		心理学特殊実験演習Ⅰd	3・4		1								兼2
		心理学特殊実験演習Ⅱa	3・4		1		3						
		心理学特殊実験演習Ⅱb	3・4		1			3					
		心理学特殊実験演習Ⅱc	3・4		1								兼2
		心理学特殊実験演習Ⅱd	3・4		1								兼2
		心理学特殊講義Ⅰ	3			2							兼1
		心理学特殊講義Ⅱ	3			2							兼1
		発達心理学Ⅰ	3			2	1						
		発達心理学Ⅱ	3			2							兼1
		学習心理学Ⅰ	3			2	1						
	学習心理学Ⅱ	3			2	1							
	教育社会心理学Ⅰ	3			2		1						
	教育社会心理学Ⅱ	3			2	1							
	教育臨床心理学Ⅰ	3			2						兼1		
	教育臨床心理学Ⅱ	3			2		1						
	青年心理学	3			2	1							
	進路指導Ⅰ	3			2	1							
	進路指導Ⅱ	3			2	1							
	道德教育学分野	道徳的価値論	2	2			1		1			専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		道徳的行為論	2	2			1	1				授業担当専任教員の職位変更(25)	
		道徳授業論	3	2			1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		西洋道徳思想史	2		2		1		1			専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		道徳性発達心理学	2		2		1					専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		道徳教育学演習Ⅰ	3		2		1	1				授業担当専任教員の職位変更(25)	
道徳教育方法学演習Ⅰ		3		2		1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)		
道徳教育学演習Ⅱ		4		2		1	1				授業担当専任教員の職位変更(25)		
道徳教育方法学演習Ⅱ		4		2		1	1				兼1		
道徳哲学		3			2						専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)		
東洋道徳思想史		3			2	1		1			専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)		
道徳教育制度史		3			2		1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)		
教育思想		3			2	1		1			兼1		
教育社会史		3			2		1				兼1		
学校教育方法論	3			2	1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)			
社会の構造と教育	3			2	1	1				兼1			
教育行政・経営論	3			2						兼1			
学習心理学Ⅰ	3			2	1								
学習心理学Ⅱ	3			2	1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	教育社会心理学Ⅰ	3			2		1						
	教育社会心理学Ⅱ	3			2		1						
	青年心理学	3			2		1						
専攻専門科目	国語専攻専門科目	解釈学概論	1		2		1						
		解釈学特論	2		2		1						
		国語学講義Ⅰ	3		2		1						
		国語学講義Ⅱ	3		2		1						
		国文学講義Ⅰ	3		2		1						
		国文学講義Ⅱ	3		2			1					
		解釈学講義Ⅰ	3		2		1						
		解釈学講義Ⅱ	3		2			1					
		国語学演習Ⅰ	4		2		2						
		国語学演習Ⅱ	4		2		2						
		国語学研究Ⅰ	4		2		1						
		国語学研究Ⅱ	4		2		1						
		国文学演習Ⅰ	4		2		1	1					
		国文学演習Ⅱ	4		2		1	1					
		国文学研究Ⅰ	4		2		1						
		国文学研究Ⅱ	4		2			1					
		解釈学演習Ⅰ	4		2		1	2					
		解釈学演習Ⅱ	4		2		1	2					
		解釈学研究Ⅰ	4		2			1					
	解釈学研究Ⅱ	4		2			1						
	小学校コース用	国語科コミュニケーション論	2		2		1						
		国語科表現解釈論	2		2			1+2				教育課程の充実を図るため授業担当教員を追加(23)	
		児童文学特講	3		2			1					
		国語科教材解釈論Ⅰ	3		2			1					
		国語科教材解釈論Ⅱ	3		2			1					
	英語専攻専門科目	※英語講義Ⅰ	1		2							兼1	※印のある科目は教養学科との相互履修科目
		※英語講義Ⅱ	1		2							兼1	
		※スピーチ・コミュニケーションⅠ	1		2							兼1	
※スピーチ・コミュニケーションⅡ		1		2							兼1		
英語学入門		2		2			1						
英語語法研究		2		2		1							
英文法研究Ⅱ		2		2		1							
※英語学概論Ⅰ		2		2							兼1		
※英語学概論Ⅱ		2		2							兼1		
※英米文学概論		2		2							兼1		
オーラル・コミュニケーション上級Ⅰ		2		2					1				
オーラル・コミュニケーション上級Ⅱ		2		2					1				
英語学研究Ⅰ		3		2			1						
英語学研究Ⅱ		3		2			1						
学習英文法論Ⅰ		3		2		1							
学習英文法論Ⅱ		3		2		1							
※言語学概論Ⅰ		2		2							兼1		
※言語学概論Ⅱ		2		2							兼1		
ライティング上級Ⅰ		3		2					1				
ライティング上級Ⅱ		3		2					1				
英語科授業研究Ⅰ	3		2							兼1			
英語科授業研究Ⅱ	3		2							兼1			
英語教育学研究Ⅰ	3		2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	英語教育学研究Ⅱ	3		2		1						兼1 兼1 カリキュラム充実のため、授業科目を追加(22)		
	英語学演習Ⅰ	4		2		1	1							
	英語学演習Ⅱ	4		2		1	1							
	アカデミック・ライティング	4		2				1						
	英語教育学演習Ⅰ	4		2		1	2							
	英語教育学演習Ⅱ	4		2		1	2							
	※英米地域研究概論Ⅰ	2		2									兼1	
	※英米地域研究概論Ⅱ	2		2									兼1	
英語専攻専門科目	小学校コース用	小学校英語教育概論	1		2		1					兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)	
		小学校英語教育と国際理解	1		2		1					兼1		
		小学校英語教授法Ⅰ	2		2				1			兼1		
		小学校英語教授法Ⅱ	2		2				1			兼1		
		小学校英語教材論	2		2			1				兼1		
		小学校英語教育研究Ⅰ	3		2							兼1		
		小学校英語教育研究Ⅱ	3		2							兼1		
		小学校英語教育特論	3		2		1							兼1
専攻専門科目	社会専攻専門科目	※自然地理学の基礎	1		2							兼1	※印のある科目は教養学科との相互履修科目  授業担当専任教員の職位変更(24) 授業担当専任教員の職位変更(24)	
		※人文地理学の基礎	1		2							兼1		
		日本経済論	1		2									兼1
		日本思想史	3		2									兼1
		考古学	2		2									兼1
		民俗学	2		2									兼1
		政治学特講	3		2									兼1
		社会調査	2		2				1					
		社会学特講	2		2				1					
		コミュニケーションと社会	2		2		1							
		社会科教育学基礎論Ⅰ	2		2		1	1						
		社会科教育学基礎論Ⅱ	2		2		1	1						
		日本史特講Ⅰ	3		2		1							
		日本史特講Ⅱ	3		2									兼1
		日本史特講Ⅲ	3		2		1							
		※日本社会史	3		2									兼1
		東洋史特講Ⅰ	3		2		1							
		東洋史特講Ⅱ	3		2		1							
		西洋史特講Ⅰ	3		2				1					
		西洋史特講Ⅱ	3		2				1					
		日本史講読Ⅰ	3		2		1							
		日本史講読Ⅱ	3		2		1							
		東洋史講読Ⅰ	3		2		1							
		東洋史講読Ⅱ	3		2		1							
		東洋史講読Ⅲ	3		2		1							
		東洋史講読Ⅳ	3		2		1							
		西洋史講読Ⅰ	3		2				1					
		西洋史講読Ⅱ	3		2				1					
		地理学実習Ⅰ	3		1				1					
		地理学実習Ⅱ	3		1				1					
		地理学野外実習	3		2		2		1					
		自然地理学特講	3		2				1					
※人文地理学特講	3		2								兼1			
法学特講	3		2								兼1			
社会学基礎演習Ⅰ	3		2				1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
	社会学基礎演習Ⅱ	3		2		1						
	社会学調査実習Ⅰ	3		1		1						
	社会学調査実習Ⅱ	3		1			1					
	国際経済論	2		2							兼1	
	比較経済論	2		2							兼1	
	経済学特講	3		2							兼1	
	経済学調査実習	3		2							兼1	
	人間学基礎演習	3		2		1						
	哲学基礎演習	3		2			1					
	哲学講読	2		2			1					
	哲学諸問題	3		2							兼1	
	倫理学基礎演習	3		2		1	1					
	倫理学講読	3		2							兼1	
												授業担当専任教員の職位変更(25)
社会専攻専門科目	応用倫理	3		2							兼1	
	社会科教育学研究Ⅰ	3		2			1					
	社会科教育学研究Ⅱ	3		2		1	1					
	教科教育学特論Ⅰ	3		2			1					
	教職研究	3		2		1						
	歴史演習Ⅰ	4		2		2	1					
	歴史演習Ⅱ	4		2		2	1					
	地理学演習Ⅰ	4		2		2	1					
	地理学演習Ⅱ	4		2		2	1					
	社会学発展演習Ⅰ	4		2		1						
	社会学発展演習Ⅱ	4		2		1						
	哲学演習Ⅰ	4		2			1					
	哲学演習Ⅱ	4		2			1					
	人間学演習Ⅰ	4		2		1						
	人間学演習Ⅱ	4		2		1						
	倫理学演習Ⅰ	4		2		1	1					
	倫理学演習Ⅱ	4		2		1	1					
	社会科教育学演習Ⅰ	4		2		3	1	3				
社会科教育学演習Ⅱ	4		2		3	1	3					
教科教育学特論Ⅱ	4		2			1						
											専任教員1名の退職に伴い、3名の専任教員で授業内容を充足及び授業担当専任教員の職位変更(25)	
											授業担当専任教員の職位変更(25)	
											授業担当専任教員の職位変更(24)	
専攻専門科目	小学校コース用											
	歴史学の現在	1		2		1						
	地域と環境	1		2		1						
	現代社会科の諸問題	1		2			1					
	倫理学の基礎	2		2		1	1					
												授業担当専任教員の職位変更(25)
	代数学C	2		2		1						
	幾何学C	2		2		1					兼1	
	微分積分学C	2		2								
	代数学Ⅰ	3		2		1					兼1	
代数学Ⅱ	3		2		1					兼1		
代数学Ⅲ	3		2							兼1		
代数学Ⅳ	3		2							兼1		
幾何学Ⅰ	3		2		1							
幾何学Ⅱ	3		2		1							
幾何学Ⅲ	3		2							兼1		
幾何学Ⅳ	3		2							兼1		
解析学Ⅰ	3		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
数学専攻専門科目	解析学Ⅱ	3		2			1						
	解析学Ⅲ	3		2							兼1		
	解析学Ⅳ	3		2							兼1		
	応用数学Ⅰ	3		2		1							
	応用数学Ⅱ	3		2		1							
	応用数学Ⅲ	3		2			1						
	応用数学Ⅳ	3		2			1						
	数学科教育学	3		2		1							
	数学の文化史	3		2							兼1		
	数学特別講義Ⅰ	3		2		1							
	数学特別講義Ⅱ	3		2		1							
	代数学研究Ⅰ	4		2		1							
	代数学研究Ⅱ	4		2		1							
	幾何学研究Ⅰ	4		2		1							
	幾何学研究Ⅱ	4		2		1							
	解析学研究Ⅰ	4		2			1				兼1		
	解析学研究Ⅱ	4		2			1				兼1		
	応用数学研究Ⅰ	4		2		1	1						
	応用数学研究Ⅱ	4		2		1	1						
	数学教育学研究Ⅰ	4		2		2					兼1		
	数学教育学研究Ⅱ	4		2		2					兼1		
数学特別講義Ⅲ	4		2		1								
小学校コース用	算数科教育学	3		2		1							
専攻専門科目	理科専攻専門科目	科学のための数学	1		2							兼1	※印のある科目は教養学科との相互履修科目
		古典力学	2		2		1						
		電磁気学	2		2		1						
		統計熱力学	2		2		1	1					専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)
		※初等量子論	2		2							兼1	
		物理学実験Ⅱ	2		1		1	1	1				授業担当専任教員の職位変更(24)
		有機化学Ⅰ	2		2							兼1	
		無機化学入門	2		2							兼1	
		物理化学	2		2							兼1	
		化学実験Ⅱ	2		1		2						
		植物系統分類学	2		2							兼1	
		動物系統分類学	2		2							兼1	
		野外植物実習	2		1		1	2	1				授業担当専任教員の職位変更(23)
		天文学Ⅰ	2		2		1	1	1				授業担当専任教員の職位変更(24)
		気象学Ⅰ	2		2			1					
		地球学Ⅰ	2		2							兼1	
		地学野外実習Ⅰ	2		1		1	2	1	1			授業担当専任教員の職位変更(24)
		地学野外実習Ⅱ	2		1		1					兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)
		現代物理学	3		2			1		1			授業担当専任教員の職位変更(24)
		数理物理学	3		2			1					
		計算物理学	3		2				1				
		量子物理学	3		2			1					
		物理学実験Ⅲ	3		1		1	1	1	1			授業担当専任教員の職位変更(24)
		分析化学入門	3		2							兼2	
有機化学Ⅱ	3		2			1							
界面化学	3		2			1							
物性化学	3		2							兼1			
高分子化学	3		2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	物理化学実験	3		1		1						
	有機化学実験	3		1		1						
	生理学	3		2							兼1	
	生化学	3		2			1					
	進化生態学	3		2			1					
	※細胞遺伝学	3		2							兼1	
	※動物発生学	3		2							兼1	
	生物学実験Ⅱ	3		1			1					
	生物学実験Ⅲ	3		1			1					
	生物学実験Ⅳ	3		1			1					
	臨海実習	3		1			1				兼1	
	天文学Ⅱ	3		2			1					
	気象学Ⅱ	3		2			1					
	地球学Ⅱ	3		2			1				兼1	
	地学特論Ⅰ	3		2							兼1	
	地学特論Ⅱ	3		2							兼1	
	地学実験Ⅱ	3		1			1	2	1			授業担当専任教員の職位変更(24)
	物理学ゼミナール	4		2			2	1	1			専任教員1名の退職に伴い、3名の専任教員で授業内容を充足(23)
	化学ゼミナール	4		2			2					授業担当専任教員の職位変更(23)
	生物学ゼミナール	4		2			1	2				授業担当専任教員の職位変更(23)
	地学ゼミナール	4		2			2	1	2	1	兼1	専任教員1名の退職に伴い、3名の専任教員で授業内容を充足(23)
理科教育学ゼミナール	4		2			2	1	2				
小学校コース用	理科基礎	1		2		3						
	初等理科授業研究	3		2		1						
	初等理科教材開発演習	3		2				1				
技術専攻専門科目	情報基礎Ⅱ	1	2				1					
	工学基礎Ⅰ	1	2				1					
	工学基礎Ⅱ	1	2				1					
	工業数学Ⅰ	1	2					1				
	木材加工学Ⅱ	3	2				1	1				授業担当専任教員の職位変更(24)
	電磁気学	1	2				1					
	プログラミング入門	1	2								兼1	
	工業数学Ⅱ	1	2					1				
	技術科内容論	1	2				1	1				専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(23)
	電子情報工学Ⅰ	2	2								兼1	
	電子情報工学Ⅱ	2	2								兼1	
	製図Ⅱ	2	1				1					
	数値計算法	2	2								兼1	
	栽培Ⅱ	2	1								兼1	
	工業デザイン	2	2								兼1	
	機械システム設計	3	2				1					
	材料力学	2	2				1					
	熱力学	3	2				1					
	水力学	3	2				1					
	機械エネルギー工学	3	2				1					授業内容を充実させるため、授業科目を分割(22)
情報通信システム論	3	2								兼1		
電子計算機	3	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻専門科目	木材加工学Ⅲ	3		1		1	1					授業担当専任教員の職位変更(24) 授業内容を充実させるため、授業科目を分割(22)		
	金属加工システム学Ⅰ	3		2		1	1							
	金属加工システム学Ⅱ	3		2		1	1							
	金属加工学Ⅱ	3		2			1							
	情報処理	3		2			1							
	材料システム工学	3		2							兼1			
	制御・情報工学	3		2							兼1			
	進路指導Ⅰ	3		2		1								
	進路指導Ⅱ	3		2		1								
	家政専攻専門科目	住居学実習Ⅱ	1		1								兼1	※印のある科目は教養学科との相互履修科目
		生活実験実習法	1		2		2						兼1	
		生活福祉概論	2		2								兼1	
		被服学Ⅱ	2		2		1						兼1	
		住居学Ⅱ	2		2								兼1	
		育児学Ⅱ	2		2		1						兼1	
		※生活機器論(情報処理を含む。)	2		2								兼1	
		生活研究論	2		2								兼1	
		家族関係学Ⅱ	3		2								兼1	
		被服学実験Ⅰ	3		1		1						兼1	
		被服学実験Ⅱ	3		1		1						兼1	
		調理学	3		2			1					兼1	
		食物学実験Ⅰ	3		1		1						兼1	
		食物学実験Ⅱ	3		1			1					兼1	
		住生活空間論	3		2								兼1	
生活調査研究法	3		2								兼1			
保育学実践研究Ⅰ	3		2		1						兼1			
保育学実践研究Ⅱ	3		2		1						兼1			
家庭教育学実践研究Ⅰ	3		2		1	1					兼1			
家庭教育学実践研究Ⅱ	3		2		1	1					兼1			
小学校コース用	生活基礎論	1		2		4	3					オムニバス		
	生活演習Ⅰ	3		1		4	3					オムニバス		
	生活演習	3		1		4	3					オムニバス		
保健体育専攻専門科目	保健体育学概論Ⅰ	1	2			5	2	1	1			専任教員1名の退職に伴い、7名の専任教員で授業内容を充足(23)		
	保健体育学研究各論演習Ⅰ	3	2			5	2	1	1					
	保健体育学研究各論演習Ⅱ	4	2			5	2	1	1					
	臨海実習	1		2									兼1	
	武道指導論	2		2		1							兼1	
	学校と地域スポーツ	3		2		1							兼1	
	発育発達学	3		2			1						兼1	
	部活動と生徒指導	3		2				1					兼1	
	スキー実習	3		2		1							兼1	
	保健管理論	4		2			1						兼1	
	スポーツ文化論	2		2		1							兼1	
	運動と栄養	3		2			1						兼1	
小学校コース用	体育指導法演習Ⅰ	1		2		1								
	体育指導法演習Ⅱ	2		2				1						
	体育指導法演習Ⅲ	3		2		1								
												カリキュラム充実のため、授業科目を追加(22)		



科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手		
専攻専門科目  音楽専攻専門科目	演奏表現（こえ）Ⅲ	2		1						兼1	
	演奏表現（こえ）Ⅳ	2		1						兼1	
	創作表現Ⅱ	2		1			1				
	音楽教育学Ⅰ	2		2		1					
	演奏表現（こえ）Ⅴ	3		1		1					
	演奏表現（こえ）Ⅵ	3		1		1					
	声楽アンサンブルA	3		1		1					
	声楽アンサンブルB	3		1		1					
	合唱Ⅲ	3		1		1					
	合唱Ⅳ	3		1		1					
	ミュージカル演習	3		1							兼1
	演奏表現（ピアノ）Ⅲ	3		1		1					
	演奏表現（ピアノ）Ⅳ	3		1		1					
	合奏Ⅲ	3		1							兼1
	合奏Ⅳ	3		1							兼1
	創作表現Ⅲ	3		1			1				
	創作表現Ⅳ	3		1			1				
	音楽学Ⅱ	3		2		1	+				授業担当専任教員の職位変更 (24)
	音楽行動論	3		2							兼1
	音楽療法論	3		2		1	+				授業担当専任教員の職位変更 (24)
	音楽教育学Ⅱ	3		2			1	+			授業担当専任教員の職位変更 (25)
	声楽アンサンブルC	4		1		1					
	声楽アンサンブルD	4		1		1					
	合唱Ⅴ	4		1		1					
	合唱Ⅵ	4		1		1					
	演奏表現演習Ⅰ	4		2		2					
	演奏表現演習Ⅱ	4		2		2					
	和楽器アンサンブルC	4		1							兼1
	和楽器アンサンブルD	4		1							兼1
	合奏Ⅴ	4		1							兼1
	合奏Ⅵ	4		1							兼1
	創作表現演習Ⅰ	4		1			1				
	創作表現演習Ⅱ	4		1			1				
	音楽学演習Ⅰ	4		1		1	+				授業担当専任教員の職位 変更(24)
音楽学演習Ⅱ	4		1		1	+					
音楽教育学演習Ⅰ	4		1		2	1	+			授業担当専任教員の職位変 更(25)	
音楽教育学演習Ⅱ	4		1		2	1	+				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻専門科目	美術・書道（美術）専攻専門科目	デッサン論	1	2							兼1	専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24)  各分野をより専門的に学ぶことができるよう、授業科目の細分化を図った。(22) 専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24) 専任教員1名の退職に伴い、2名の専任教員で授業内容を充足(23)  専任教員退職に伴う授業担当教員の変更(24) 専任教員1名の退職に伴い、2名の専任教員で授業内容を充足(23)	
		図法及び製図Ⅰ	1	2							兼1		
		図法及び製図Ⅱ	1	2							兼1		
		材料研究B	1	2		1							兼1
		材料研究A	2	2									兼1
		デザイン理論	2	2		1							
		美術理論Ⅱ	2	2			1						
		絵画Ⅰ	3	1									兼1
		絵画Ⅱ	3	1									兼1
		彫塑Ⅰ	3	1			1						
		彫塑Ⅱ	3	1			1						
		デザインⅠ	3	1		1							
		デザインⅡ	3	1		1							
		クラフトAⅠ	3	1		1							
		クラフトAⅡ	3	1		1							
		クラフトBⅠ	3	1									兼1
		クラフトBⅡ	3	1									兼1
		工芸理論	3	2				1					
		美術史C	3	2			1		1				
		美術史D	3	2			1		1				
		自由研究Ⅰ	3	2		4	2	1					
		自由研究・絵画Ⅰ	3	2					1				
		自由研究・彫刻Ⅰ	3	2				1					
		自由研究・デザインⅠ	3	2			1						
自由研究・工芸Ⅰ	3	2			1								
自由研究・美術理論Ⅰ	3	2		2	1	1							
自由研究Ⅱ	4	2		4	2	1							
自由研究・絵画Ⅱ	4	2					1						
自由研究・彫刻Ⅱ	4	2				1							
自由研究・デザインⅡ	4	2			1								
自由研究・工芸Ⅱ	4	2			1								
自由研究・美術理論Ⅱ	4	2		2	1	1							
小学校コース用	造形教材研究Ⅰ	2		2		1							
	造形教材研究Ⅱ	2		2				1					
美術・書道（書道）専攻専門科目	※漢字書道基礎演習	1		2							兼1		
	※仮名書道基礎演習	1		2		1					兼1		
	実用書式の研究	1		2							兼1		
	※楷書法演習	1		2							兼1		
	※行書法演習	2		2							兼1		
	※仮名書法演習	2		2		1					兼1		
	教材研究演習Ⅱ	2		2							兼1		
	中国書道史	2	2								兼1		
	日本書道史	2	2								兼1		
	※草書法演習	2		2							兼1		
	※書論研究	3		2							兼1		
	※書人研究	3		2							兼1		
	※名蹟研究	3		2							兼1		
	※文房概論	3		2							兼1		
	※漢字作品制作論演習Ⅱ	3		2							兼1		
※仮名作品制作論演習Ⅱ	3		2		1					兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	※書技法論Ⅰ	3		2		1						兼1	
	※書技法論Ⅱ	3		2								兼1	
	※篆書法演習	3		2								兼1	
	※隸書法演習	3		2								兼1	
	書鑑賞論Ⅰ	3		2		1							
	※漢字作品制作論演習Ⅲ	4		2								兼1	
	※仮名作品制作論演習Ⅲ	4		2		1							
	書鑑賞論Ⅱ	4		2		1							
	小学校コース用 教材研究演習Ⅰ	2		2		1							
特別開講科目	情報処理入門	1			2							兼6	
資格科目	学校経営と学校図書館	3・4			2							兼1	※印のある科目は教養学科との相互履修科目  資格科目の開設体制を見直し、他学科開設の授業科目を共通開設とした。(22)
	学校図書館メディアの構成	3・4			2							兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4			2							隔年開講	
	読書教育と図書館	3・4			2							兼1	
	情報メディアの活用	3・4			2							兼1	
	※生涯教育基礎論Ⅰ	2			2							兼1	
	社会教育Ⅰ	2			2							兼1	
	※生涯教育基礎論Ⅱ	2			2							兼1	
	社会教育Ⅱ	2			2							兼1	
	※生涯教育計画論Ⅰ	2			2							兼1	
	教育計画論	3・4			2	1							
※メディア文化論	2			2							兼1		
教育工学	3・4			2							隔年開講		
	卒業論文	4	6			57 60 63	48 39 37 36	9 8 7	0	0		専任教員の異動に伴う変更(23) 専任教員の異動に伴う変更(24) 専任教員の異動に伴う変更(25)	

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
202	605	46	853	202	665	46	913	
				[ 0 ]	[ 60 ]	[ 0 ]	[ 60 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)		
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 +5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	m <sup>2</sup>							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	m <sup>2</sup>							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪教育大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部（第一部）								大阪府柏原市 旭ヶ丘4-698-1	
幼稚園教育教員養成課程	4	15	-	60	学士（教育学）	1.15	昭和42年		
学校教育教員養成課程	4	395	-	1580	学士（教育学）	1.03	平成22年		
特別支援教育教員養成課程	4	45	-	180	学士（教育学）	1.01	昭和63年		
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士（教育学）	0.98	昭和51年		
教養学科	4	405	-	1620	学士（教養）	1.04	昭和63年		
教育学部（第二部）								大阪府大阪市天 王寺区南河堀町 4-88	
小学校教育教員養成課程	5	40	50	350	学士（教育学）	1.06	昭和29年		
大学院教育学研究科								大阪府柏原市 旭ヶ丘4-698-1	
学校教育専攻	2	16	-	32	修士（教育学）	0.93	昭和43年		
特別支援教育専攻	2	12	-	24	修士（教育学）	0.75	昭和51年		
国語教育専攻	2	8	-	16	修士（教育学）	0.75	昭和43年		
英語教育専攻	2	6	-	12	修士（教育学）	1.08	昭和43年		
社会科教育専攻	2	16	-	32	修士（教育学）	0.9	昭和43年		
数学教育専攻	2	8	-	16	修士（教育学）	0.81	昭和43年		
理科教育専攻	2	18	-	36	修士（教育学）	0.47	昭和43年		
家政教育専攻	2	6	-	12	修士（教育学）	0.41	昭和49年		
技術教育専攻	2	3	-	6	修士（教育学）	1	平成5年		
音楽教育専攻	2	12	-	24	修士（教育学）	1.04	昭和50年		
美術教育専攻	2	12	-	24	修士（教育学）	0.7	昭和50年		
保健体育専攻	2	10	-	20	修士（教育学）	1.45	昭和50年		
養護教育専攻	2	3	-	6	修士（教育学）	1.16	平成14年		
実践学校教育専攻	2	30	-	60	修士（教育学）	0.75	平成8年	大阪府大阪市天 王寺区南河堀町 4-88	
国際文化専攻	2	12	-	24	修士（学術）	0.54	平成6年	大阪府柏原市 旭ヶ丘4-698-1	
総合基礎科学専攻	2	16	-	32	修士（学術）	1.06	平成5年		
芸術文化専攻	2	12	-	24	修士（芸術）	1.45	平成7年		
健康科学専攻	2	21	-	42	修士（学術）	1	平成5年	大阪府大阪市天 王寺区南河堀町 4-88	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (〇〇)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23) 平成23年7月 AC教員審査済(24)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (〇〇)	平成23年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成23年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成23年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成24年10月	金 融 論			後任未定			平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 「後任未定」平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成25年4月	〇〇〇〇論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
62	48	9	0	119	63	36	7	0	106	65	0
(69)	(42)	(8)	(0)	(119)	[1]	[△12]	[△2]	[0]	[△13]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<△△学部 □□学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法について研究会</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 新任教員のための研修会 等</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p>
---

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- b 教員や学生への公開状況，方法等

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し，近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく，学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2013年5月17日 )